



平成 19 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド ワ ン ゴ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 宏  
(コード番号：3715東証第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 松 本 康 一 郎  
業 務 本 部 長  
(TEL. 03-3664-5477)

平成 19 年 9 月 期 中 間 期 末 の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 お よ び  
通 期 ( 連 結 ・ 個 別 ) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

投資有価証券評価損の発生についてお知らせするとともに、平成 18 年 11 月 14 日付で公表いたしました平成 19 年 9 月 期 (平成 18 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日) 中間期ならびに通期の連結業績予想および個別業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 投資有価証券評価損について

保有投資有価証券のうち、実質価額が下落し、その回復があると認められないものについて、平成 19 年 9 月 期 中 間 期 において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたします。

(1) 平成 19 年 9 月 期 中 間 期 末 の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 の 総 額

(A) 平成 19 年 9 月 期 中 間 期 末 の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 の 総 額	1,434 百万円
(B) 平成 18 年 9 月 期 ( 個 別 ) 総 資 産 額 (A/B×100)	26,357 百万円 (5.4%)
(C) 平成 18 年 9 月 期 ( 個 別 ) 経 常 利 益 額 (A/C×100)	340 百万円 (-%)
(D) 平成 18 年 9 月 期 ( 個 別 ) 当 期 純 利 益 額 (A/D×100)	351 百万円 (-%)

ご参考：当社の決算期は 9 月 30 日であります。

(2) 投資有価証券評価損計上の理由

投資有価証券評価損 1,434 百万円のうち 1,371 百万円は、平成 16 年 8 月に取得いたしましたタワーレコード株式会社株式の評価損であります。同社の直近事業年度および翌期以降の事業計画に基づき検討した結果、減損処理を行ったものであります。

## 2. 業績予想の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成18年11月14日付で公表いたしました平成19年9月期(平成18年10月1日～平成19年9月30日)中間期ならびに通期の連結業績予想および個別業績予想を修正いたします。

(1) 平成18年9月期連結業績予想の修正(平成18年10月1日～平成19年9月30日)

中間期

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成18年11月14日(A))	11,600	-	700	800
今回見通し(B)	11,009	133	115	1,653
増減額(B-A)	591	-	815	853
増減率(%)	5.1	-	-	-
(ご参考)前期(平成18年3月期)実績	10,048	735	628	545

通期

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成18年11月14日(A))	25,000	-	500	300
今回修正予想(B)	22,000	700	700	1,900
増減額(B-A)	3,000	-	1,200	2,200
増減率(%)	12.0	-	-	-
(ご参考)前期(平成18年9月期)実績	19,961	31	138	962

(2) 平成18年9月期個別業績予想の修正(平成18年10月1日～平成19年9月30日)

中間期

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成18年11月14日(A))	8,500	-	1,000	1,000
今回見通し(B)	7,776	359	337	1,876
増減額(B-A)	724	-	663	876
増減率(%)	8.5	-	66.3	87.6
(ご参考)前期(平成18年3月期)実績	8,354	677	629	356

通期

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成18年11月14日(A))	18,000	-	10	0
今回修正予想(B)	15,200	1,000	1,000	1,800
増減額(B-A)	2,800	-	1,010	1,800
増減率(%)	15.5	-	-	-
(ご参考)前期(平成18年9月期)実績	16,584	295	340	351

### (3) 修正の理由

売上高につきましては、平成 18 年 10 月、一般サイトにポータルサイト「dwango.jp」を立ち上げ、従来の公式サイトだけではなく、一般サイトからも着うたなどのコンテンツを検索、ダウンロードできるようにするなどユーザの利便性を向上させることにより、多くのユーザに dwangoID (会員) を登録してもらう事を図ってまいりました。しかしながら、ユーザニーズが着うた、着信うたフルへ移行することに伴い、両サイトの会員数は増加しているものの、主力サイトである「dwango.jp (メロ)」の会員数の減少を補うまでに至らず、平成 18 年 11 月 14 日に公表いたしました予想を下回る見込みであります。

経費につきましては、動画投稿サービスに掛かる費用を見込んでおります。

当サービスは、本年 3 月より本格的なサービスを開始しており、3 ヶ月間でその会員数は 100 万人弱と急成長しておりますが、その分先行投資が膨らみ、未だ収益へ貢献するには至っておりません。

また、ネットワークゲームのサービス終了による、当ソフトウェアの減損処理ならびに上記 1. のとおり保有投資有価証券の評価損計上などを主な要因として、中間期ならびに通期業績予想を修正するものです。

結果、中間期の連結業績については、売上高 110 億円 (前期比 9.6%増)、営業利益 1 億 33 百万円 (前期比 81.8%減)、経常利益 1 億 15 百万円 (前期比 81.7%減)、中間純損失 16 億 53 百万円、個別業績については、売上高 77 億 76 百万円 (前期比 6.9%減)、営業損失 3 億 59 百万円、経常損失 3 億 37 百万円、中間純損失 18 億 76 百万円を見込んでおります。

また、通期の連結業績見通しについては、売上高 220 億円 (前期比 10.2%増)、営業損失 7 億円、経常損失 7 億円、当期純損失 19 億円、個別業績見通しについては、売上高 152 億円 (前期比 8.3%減)、営業損失 10 億円、経常損失 10 億円、当期純損失 18 億円を見込んでおります。

配当につきましては、前回予想発表時どおり年間 2,000 円を予定しております。

以 上